

科 目 名	中国語 I			科目コード	CF105	
英 文 名	Chinese I			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目 (選択必修)	
担当教員	市川 遥夏		教員コード	134	単 位 数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日/3時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	中国語の発音を中心に勉強する。中国語の挨拶、自己紹介など語句を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。					
授業の狙い・ 到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国でよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。					
授業内容の レベル・関連科目	総合的な中国語の基礎学力を養う。中国語初級レベル。 関連科目：中国語Ⅱ					
授業外学習 (予習・復習)	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	遠藤光暁監修，衛榕群・汪暁京著『入門 ビジュアル中国』朝日出版社					
参考書・ その他教材	早稲田大学商学部中国語教室『中国語基本単語帳』朝日出版社					
課題に対する フィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。					
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、毎回の小テスト(50%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	テキストは必ず用意すること。 主体的に学習に取り組むこと。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(ichikawa@aikoku-u.org)					

授業スケジュール

中国語 I

1 回	学習内容 予習 復習	発音1 ピンイン、声調、母音 シラバスを熟読し、授業の概要についておおむね理解しておくこと。 基本的な発音規則と簡単なフレーズを覚えること。
2 回	学習内容 予習 復習	発音2 子音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
3 回	学習内容 予習 復習	発音3 鼻音 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
4 回	学習内容 予習 復習	発音4 軽声 授業の前に毎回の新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
5 回	学習内容 予習 復習	発音の復習 母音、子音、鼻音の発音を暗記すること。 発音1～発音4の練習を繰り返し、正確な発音を復習すること。
6 回	学習内容 予習 復習	第1課 开学第一天 (キャンパス用語) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 キャンパス用語を復習し、単語を暗記すること。
7 回	学習内容 予習 復習	第2課 中华民族园 (常用形容詞) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用形容詞を復習し、単語を暗記すること。
8 回	学習内容 予習 復習	第3課 傣族新年 (期日と曜日) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 期日と曜日を復習し、単語を暗記すること。
9 回	学習内容 予習 復習	第4課 旅游 (家族紹介) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 家族紹介を復習し、単語を暗記すること。
10 回	学習内容 予習 復習	ユニット① コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
11 回	学習内容 予習 復習	第5課 新家 (時間帯と時刻) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間帯と時刻を復習し、単語を暗記すること。
12 回	学習内容 予習 復習	第6課 兵馬俑 (常用動詞と目的語の組み合わせ) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と目的語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
13 回	学習内容 予習 復習	第7課 西安 (時間の量) 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 時間の量を復習し、単語を暗記すること。
14 回	学習内容 予習 復習	総合復習 授業の前に第1課～第7課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	学習内容 予習 復習	課題発表、これまでの内容を振り返る 第1課～第7課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	中国語Ⅱ			科目コード	CF106	
英文名	Chinese I			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	市川 遥夏		教員コード	134	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日/3時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	中国語の語句や基礎文法を勉強しながら、中国語だけでなく、中国の歴史や遺産、現代の姿、雄大な自然と工夫を凝らした造形美など多様な側面をもつ中国の社会について学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	中国語の基礎能力を身につけることができる。中国語のよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。自己紹介など、中国語での簡単な会話を行うことができる。簡単な文章を読むことができる。					
授業内容のレベル・関連科目	総合的な中国語の基礎語学力を養う。中国語初級レベル。 中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。					
授業外学習（予習・復習）	授業後に学習内容が身につくように復習し、再確認すること。毎回小テストを行うので、指定された部分の漢字・ピンイン・意味を覚えること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	遠藤光暁監修，衛榕群・汪暁京著『入門 ビジュアル中国』朝日出版社					
参考書・その他教材	早稲田大学商学部中国語教室『中国語基本単語帳』朝日出版社					
課題に対するフィードバック	講義中の小テストは、その場で解説する。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。					
成績評価方法	課題への取り組み（50％）、毎回の小テスト（50％）で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	中国語Ⅰを受講した学生のみ選択できる科目である。 テキストは必ず用意すること。主体的に学習に取り組むこと。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。（ichikawa@aikoku-u.org）					

授業スケジュール

中国語Ⅱ

1 回	学習内容 予習 復習	中国語Ⅰ内容の総復習 発音、第1課～第7課の単語と文法を覚えること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
2 回	学習内容 予習 復習	第8課 上海世界博覧会（中国と日本の都市名） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国と日本の都市名を復習し、単語を暗記すること。
3 回	学習内容 予習 復習	ユニット② コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
4 回	学習内容 予習 復習	第9課 国名（常用動詞と結果補語の組み合わせ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用動詞と結果補語の組み合わせを復習し、単語を暗記すること。
5 回	学習内容 予習 復習	第10課 苏州园林（中国の世界遺産） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の世界遺産を復習し、単語を暗記すること。
6 回	学習内容 予習 復習	第11課 天坛（北京の観光スポット） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 北京の観光スポットを復習し、単語を暗記すること。
7 回	学習内容 予習 復習	第12課 少林寺（趣味のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 趣味のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
8 回	学習内容 予習 復習	ユニット③ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
9 回	学習内容 予習 復習	第13課 清明节（中国の祝日） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 中国の祝日を復習し、単語を暗記すること。
10 回	学習内容 予習 復習	第14課 在茶馆喝茶（飲み物のいろいろ） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 飲み物のいろいろを復習し、単語を暗記すること。
11 回	学習内容 予習 復習	第15課 京剧（常用疑問詞） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用疑問詞を復習し、単語を暗記すること。
12 回	学習内容 予習 復習	第16課 艺术区（常用可能補語） 授業の前に新出単語を実際に発音し、意味を覚えること。 常用可能補語を復習し、単語を暗記すること。
13 回	学習内容 予習 復習	ユニット④ コラム 該当する教科書について一読すること。 授業の後で学習内容が身につくように復習し再確認すること。
14 回	学習内容 予習 復習	総合復習 授業の前に第8課～第16課の単語と文法を暗記すること。 総合復習の問題をしっかりと復習、暗記すること。
15 回	学習内容 予習 復習	課題発表、これまでの内容を振り返る。 第8課～第16課の練習問題をしっかりと覚えること。 15回の授業を振り返り、総合復習の問題をしっかりと復習すること。

科目名	英語Ⅰ（英語ⅠA-1）			科目コード	CF101	
英 文 名	EnglishⅠA			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	安藤 郁子		教員コード	260	単 位 数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・1時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける			2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	心身の健康について、社会、環境、医学の観点から書かれた最新の英語のエッセイを精読し、自分の意見を述べる。					
授業の狙い・ 到達目標	英語を通じて私たちを取り巻く物事に目を向け、社会の動きに興味を抱かせる。英文を理解し、重要な個所を要約できるようにする。					
授業内容の レベル・関連科目	話題によっては難しいので、必要に応じて関連記事やプリントなどで捕捉し理解を深める。					
授業外学習 (予習・復習)	単語や熟語の予習復習を行う。毎回単語の復習テストを行う。				授業外学習に 必要な時間	各回2時間、 合計30時間
使用教科書	Paul Stapleton, "Stay Healthy", センゲージ ラーニング株式会社					
参考書・ その他教材	受講者と相談の上、適宜案内する。					
課題に対する フィードバック	講師との対話を重視し、レポートや課題についてのフィードバックや意見交換を行う。					
成績評価方法	授業への積極的な取り組み(質問、発言などを含む)(70%)、課題や小テストへの取り組み(20%)、出席(10%)で総合的に判断する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	日々の学習習慣を身につけることが、大学生活のみならず、社会に出てからも役に立ちます。欠席、遅刻をする際は必ず理由も含めてメールすること。					
科目に関連した 教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、音読、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験面接対策、高校・大学受験対策の指導を行っている。					
担当教員への 連絡方法	質問はメール(初回の授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合には、再度連絡方法を確認すること。					

授業スケジュール

英語 I （英語 I A-1）

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明。Chapter1 Healthy Japan シラバスを読んでおくこと Chapter1 単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Chapter2 Health and Evolutionary Psychology テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter2 単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Chapter3 Natural Defense テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Chapter4 Race and Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Chapter5 Understanding Medical Studies テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Chapter6 Cancer テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Chapter7 The World's Most Common Disease テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Chapter8 Instant Noodles テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Chapter9 Supplements テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Chapter10 The New Global Epidemic テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Chapter11 Health and Genes テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Chapter12 Mental Health テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Chapter13 Addictions テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter13単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Chapter14 Antibiotics テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Chapter15 The New Nutrition テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter15単語テストの準備、夏休みの課題

科目名	英語Ⅱ（英語ⅠA-2）			科目コード	CF102	
英 文 名	EnglishⅠA			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	安藤 郁子		教員コード	260	単 位 数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・1時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける			2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	現代の日本が抱える社会問題に関する英文エッセイを精読し、意見の交換、解決策についての議論を行う。政治、経済、科学、環境問題などの分野について基本的な知識を学ぶ。					
授業の狙い・ 到達目標	英文のエッセイを通じて社会の動きに目を向け、関心を持てるようにする。新しい社会現象と共に生まれた時事英語にも着目して、日本の将来についても考察する。					
授業内容の レベル・関連科目	日常的にニュースや新聞などで、世の中の出来事を把握しておくことが望ましい。日本だけでなく、他の国々の社会現象についても興味を持つことが重要である。					
授業外学習 (予習・復習)	単語や熟語の予習復習を行う。毎回単語復習テストを行う。				授業外学習に 必要な時間	各回2時間、 合計30時間
使用教科書	Paul Stpleton, "Keywords for Japan Today", センゲージ ラーニング株式会社					
参考書・ その他教材	適宜、学習内容を捕捉するプリントの配布する。					
課題に対する フィードバック	授業では講師との会話の対話を積極的に行い、一人一人に発話を促す。 日本社会が抱える問題について考え、解決策を話し合う。					
成績評価方法	授業への積極的な取り組み(質問、発言などを含む)(70%)、課題や小テストの取り組み(20%)、出席(10%) で総合的に判断する					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	ニュースや新聞に興味を持つこと。世の中の動きを知ることで将来の職業選択の幅が広がります。欠席、遅刻 をする際は、必ず理由も含めてメールすること。					
科目に関連した 教員の実務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話、文法、音読、時事英語、ビ ジネス英語、各種資格試験の面接対策、高校・大学受験の指導を行っている。					
担当教員への 連絡方法	質問はメール(初回の授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無 い場合には、再度連絡方法を確認すること。					

授業スケジュール

英語Ⅱ（英語ⅠA-2）

1 回	学習内容 予習 復習	授業内容、評価基準の説明、Chapter1 Freeters and NEETs シラバスを読んでおくこと Chapter1単語テストの準備
2 回	学習内容 予習 復習	Chapter2 Low Birth Rate テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter2単語テストの準備
3 回	学習内容 予習 復習	Chapter3 Working Poor テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter3単語テストの準備
4 回	学習内容 予習 復習	Chapter4 Net Cafe Refugee テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter4単語テストの準備
5 回	学習内容 予習 復習	Chapter5 Loser Dog テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter5単語テストの準備
6 回	学習内容 予習 復習	Chapter6 False Accusation テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter6単語テストの準備
7 回	学習内容 予習 復習	Chapter7 Hikikomori テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter7単語テストの準備
8 回	学習内容 予習 復習	Chapter8 Cults テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter8単語テストの準備
9 回	学習内容 予習 復習	Chapter9 Baby Boomers Retire テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter9単語テストの準備
10 回	学習内容 予習 復習	Chapter10 Immigration テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter10単語テストの準備
11 回	学習内容 予習 復習	Chapter11 Telecommuting テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter11単語テストの準備
12 回	学習内容 予習 復習	Chapter12 Buying Organs テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter12単語テストの準備
13 回	学習内容 予習 復習	Chapter13 Surrogate Mothers テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter13単語テストの準備
14 回	学習内容 予習 復習	Chapter14 Baby Hatch テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter14単語テストの準備
15 回	学習内容 予習 復習	Chapter15 Eating Disorder テキストを読み、知らない単語、熟語を調べる Chapter15単語の復習、これまでの復習

科 目 名	英語Ⅲ（英語ⅡA-1）			科目コード	CF103	
英 文 名	English Ⅲ (English ⅡA)			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	山崎 寿美子		教員コード	147	単 位 数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日/2時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。					
授業の狙い・ 到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。					
授業内容の レベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。					
授業外学習 (予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。				授業外学習に 必要な時間	各回2時間、 合計30時間
使用教科書	特になし					
参考書・ その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。					
課題に対する フィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。					
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(50%)、発表(50%)で総合的に判断する					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること					

授業スケジュール

英語Ⅲ（英語ⅡA-1）

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクションー授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜文化＞①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜文化＞②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜文化＞③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
5 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
6 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜社会＞①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜社会＞②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む＜社会＞③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
9 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
10 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜環境問題＞①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
11 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜環境問題＞②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜環境問題＞③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
13 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
14 回	学習内容 予習 復習	英語でのプレゼンテーションを学ぶ①動画 使用する動画を観て耳を鳴らしておくこと 使用した動画を繰り返し聞いて復習すること
15 回	学習内容 予習 復習	英語でのプレゼンテーションを学ぶ②実践 動画から学んだことをまとめておく 今学期学んだことを活かして、英語の発話を日常に取り入れること

科 目 名	英語Ⅳ（英語ⅡA-2）			科目コード	CF104	
英 文 名	English IV (English ⅡA)			科目区分	【共通教養科目】 外国語科目（選択必修）	
担当教員	山崎 寿美子		教員コード	147	単 位 数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日/2時限		授業形態	演習
学位授与方針 との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探究する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	国際情勢、文化、社会問題などに関するニュースや英字新聞などを活用し、それぞれのテーマについて考え、平易な英語を使ったプレゼンテーションを行う。英語を使って自らの意見を表現し、コミュニケーションをとる基礎を学ぶ。					
授業の狙い・ 到達目標	コミュニケーションのツールとして英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。また、社会における様々な課題について自分の意見を英語で表現し、コミュニケーションがとれるようになる。					
授業内容の レベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。					
授業外学習 (予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次の学習の導入を目的とした宿題を出す。				授業外学習に 必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	特になし					
参考書・ その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。					
課題に対する フィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。また、各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。					
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(50%)、発表(50%)で総合的に判断する					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の 注意事項や 学習上の助言	積極的に発話することが英会話の始まりであり習熟への近道である。					
科目に関連した 教員の実務経験	特になし					
担当教員への 連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること					

1 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜社会問題＞①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
2 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜社会問題＞②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
3 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜社会問題＞③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
4 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
5 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜国際情勢＞①資料を読み込む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
6 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜国際情勢＞②テーマについて話し合う 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
7 回	学習内容 予習 復習	英字新聞を読む＜国際情勢＞③プレゼンテーション 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8 回	学習内容 予習 復習	ここまでの振り返り:プレゼンテーションのフィードバック これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
9 回	学習内容 予習 復習	グループ学習①テーマを決める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	グループ学習②テーマに即して資料を集める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	グループ学習③発表の構成を練る これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	グループ学習④発表内容を作成する これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	予備時間:学生の進捗状況に合わせて決める これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通してくること。 グループで話し合った内容についてまとめておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	グループ発表 グループでプレゼンテーション資料を仕上げておくこと 自分たちの発表や質問について振り返っておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	全体の振り返りと総合討論 これまでの内容を振り返っておくこと 総合討論で出された課題について考えること